

■プロジェクト

●みんなのいす（山川、中村（一丁目））

- ・現在5脚設置 安心ネットさんのお金で3,000枚チラシ印刷(HPで確認可)町内会で回覧 その後全戸配布
- ・その後、MMCでポスター作る予定 その後、椅子の設置情報を共有しながら数を増やしていきたい

Q 設置主体がよくわからないという声（情報整理してもらえたらありがたい）⇒ステッカーも主体は協議会（安心ネット、個人の協力で）

●フレイル予防測定会（山川、下島、中村（安心相談センター）、山本（永生会）、加藤（永生会））

- ・先週金曜日に、予行測定演習実施 8名の非測定者参加 5項目測定（補助者がいた方がいい） ジーバー使えるかも
- ・情報をみなさんに情報提供（サロンとかノルディックとか）
- ・永生会でレクチャー（今後は、録画を流すというのも手か）

・3/25に、第1回目を実施予定

- ・少しわかめの人で実施したので、もっと高齢者の方が来たら、付き添い、転倒防止、自己防止、グルーピングでの説明、など、が課題

■情報交換・談論風発

<コロナの影響深刻化>

●安心ネットでサロン（中村（一丁目））

- ・まんぼう、出休止中。常連の90歳代の方が、中止になった途端に施設入所。フレイル予防の大事さ痛感。

●すずのなる木（瀬戸口）

- ・2月いっぱい休止：90歳以上の常連さん2名、休止を残念がる、再会を喜ぶ

●コロナで状況少し深刻化中村（安心相談センター）

- ・今までより一段階、状況が深刻になってきている
- ・オンラインでの相談体制も重要か

●小さなグループホームで加藤（永生会）

- ・クラスター発生したが、全員乗り切った。目・鼻・口を防御して生活する基本を確認
- ・家庭内感染（小さい子からの感染）で職場で欠席者が増えた

<若い世帯への多世代交流的支援も>

●マンションでの世代交代（下島）

- ・高齢の方が亡くなった後に、若い子育て世帯が入ってくるケースが増えている。比較的安いと若い人がどんどん入ってくる可能性も。

●若い世帯への支援（瀬戸口）

- ・新たにやってくる若い世帯への支援も色々考えたい。町として支えられる体制を。

●多世代交流の視点の重要性（若尾）

- ・次世代育成：子どものための遊び場確保（冒険遊び場など）に、高齢者が参加できないか

●多世代交流のあり方として 多摩信用金庫（海野（うんの））

- ・奥さんが助産院で出産、子育て中の家庭に出張料理をしてくれるボランティアがありがたい、多世代交流の一環としてもこうした支援
ジーバー

●多世代交流のチャンスとしての雪かきボランティア（小林（4丁目）、中村）

- ・1丁目、4丁目、雪かきボランティア募集：1丁目は小学生5年生以上に募集、4丁目は集まらなかった。（いずれも30分、1,000円）
- ・中村さんがたボランティア募集隊長：高齢者と若い世代の交流も狙う。30分で1,000円で募集。小中学生5,6人が登録。しかし、学校の時間帯とフィットするようなチャンスがない。以前、2人で行ったら、上乘せして払ってもらった。